

市町村名	金武町							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－②	プロスポーツ受入事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア			
					国際的な沖縄観光ブランドの確立			
担当部課名	金武町教育委員会　社会教育課		事業実施 （予定）年度	平成28～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1		
事業内容	本町に整備された金武町ベースボールスタジアムや金武町フットボールセンター等を活用し、プロスポーツチームや社会人チームのキャンプ等の受入れを実施している。長期の受入れを目指すため、競技環境の整備や受入れ体制の強化を図る。							
効果発現年度	■当年度　　□後年度（　　年度）							
実施方法	■直接実施　　■委託　　□補助　　□負担　　□その他（　　）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,998	43,777				
		(b) 予算現額	6,365	42,460				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 633	▲ 1,317				
		(d) 繰越額	－	－				
		A. 計 (b+d)	6,365	42,460				
	B. 執行済額		6,365	42,460				
	うち交付金充当額		5,092	33,968				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%				
	予算の状況の説明		プロチームを受入れるために必要な芝管理や黒土の補充によるグラウンド整備等の競技環境の整備、警備や清掃、テントの設置等の受入体制の強化を図った。当初予定では、施設に看板の設置を予定していたが、陸上競技場クラブハウスが建築中であったため、事業内容を変更し、受入れるためのプレハブを設置した。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	競技環境の整備	目 標	(4チーム)	(4チーム)				
		実 績	4チーム	5チーム				
	プロスポーツ受入の実施	目 標	(4チーム)	(4チーム)				
		実 績	4チーム	5チーム				
	見学者受入体制の整備	目 標	(4チーム)	(4チーム)				
		実 績	4チーム	5チーム				
	プロスポーツキャンプ受入体制の構築	目 標	(4チーム)	(4チーム)				
		実 績	4チーム	5チーム				
	スポーツ教室の開催	目 標	(2回)	(2回)				
		実 績	2回	4回				
	達成 状況 説明	競技環境の整備や受入体制を強化することで、継続した4チームを受入れることができ、さらに1チームを新規で受入れることができた。また、受入チームが増えたことに伴い、スポーツ教室も目標よりも多く開催できた。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	28年度	29年度	30年度	目標値 （ 年度）
	H29年度プロチーム4チームの受入	目 標	()	(4チーム)	(4チーム)	()	()	
		実 績		4チーム	5チーム			
	アマチュアチーム合宿の受入	目 標	()	()	(1件)	()	()	
		実 績			4件			
	大会受入3大会	目 標	()	()	(3大会)	()	()	
		実 績			94大会			
	進 捗 状 況 説 明	継続した4チームを受入れることができ、さらに1チームを新規で受入れることができた。また、プロが使用できるよう競技環境を整備したことで、アマチュアチームや大会等の利用が増えた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	プロチームを継続して受入れることができるよう、競技環境の整備や受入体制の強化を図ることで、昨年度からの受入チームに加え、新たに1チームを受入れることができた。また、プロを受入れるための整備を実施することで、アマチュア合宿や大会等の開催も増えた。今後は、継続して本町の施設でキャンプ等を実施してもらえるよう、現在の競技環境を維持・向上していく必要がある。	今後も継続してプロチームを受入れ、定着するよう、芝管理やグラウンド整備等の競技環境の整備を図るとともに警備や清掃、テント等を設置することで受入体制の強化を目指す。
今後の取り組み方針		
競技環境や受入体制の強化を図るため、これまで同様にプロキャンプに適した芝管理やグラウンド整備を実施するとともに、選手や来場者の安全等を確保するための警備や清掃、選手控え等のテント等を設置し、プロスポーツキャンプの継続受入を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>42,460</td><td>42,460</td><td>33,968</td><td>8,492</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	42,460	42,460	33,968	8,492	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
42,460	42,460	33,968	8,492	0										
金武町 42,460千円 需用費 1,463千円 委託料 40,997千円 阪神園芸株式会社 1,226千円 株式会社 楽天野球団 186千円 金武金物店 51千円 合資会社全沖縄警備保障 570千円 有限会社砂辺テント 1,058千円 あずまクリーンサービス 555千円 大永建設工業株式会社 1,014千円 一般社団法人 GREEN FIELD OKINAWA 37,800千円 黒土購入 歓迎のぼり旗購入 警備用カラーコーン・バー購入 警備用委託 テント等設置委託 清掃業務委託 プレハブ設置委託 芝管理業務委託														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○随意契約で契約したが、金武町財務規則に基づいて契約締結しており、選定方法は妥当であった。 ○事業内容変更による予算額の減はあったものの、5%未満の減額であり、予算規模は適正であったと考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－③	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア				
				国際的な沖縄観光ブランドの確立				
担当部課名	金武町教育委員会 社会教育課	事業実施 （予定）年度	平成29～30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1			
事業内容	金武町ベースボールスタジアムの利便性を向上させることにより、プロ野球キャンプ等の継続的な受けれを行い町の観光やスポーツの振興を図る。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☐ 後年度（ 年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,646					
		(b) 予算現額	1,404					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,242					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	1,404					
	B. 執行済額		1,404					
	うち交付金充当額		1,123					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
	予算の状況の説明		当初見積を徴して予算を計上していたが、基準単価に基づいて積算した結果予算額が減となった。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	投球練習場人工芝敷設実施設計の実施	目 標	（ 実施設計完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	実施設計完了					
	本球場人工芝敷設実施設計の実施	目 標	（ 実施設計完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	実施設計完了					
	達成 状況 説明	平成29年10月に契約し、同年12月末に実施設計が完了した。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	29年度	30年度	31年度	目標値 （ 年度）
	投球練習場人工芝敷設実施設計の実施	目 標	（ ）	（ 実施設計完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		実施設計完了				
	本球場人工芝敷設実施設計の実施	目 標	（ ）	（ 実施設計完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		実施設計完了				
	進捗 状況 説明	投球練習場（マウンド部分を除く）及び本球場ベンチ前等の人工芝敷設についての実施設計が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	予定通り実施設計が完了した。	今後の工事についても円滑に実施できるよう発注に際しては県内外の工事需要等を勘案し取り組む。
今後の取り組み方針		
今後の工事も円滑な実施に努め、プロ野球キャンプ等の継続誘致による観光振興に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,404</td><td>1,404</td><td>1,123</td><td>281</td><td>0</td></tr></table> 金武町 1,404千円 → 委託料 1,404千円 → 株式会社 渡南エンジニアリング 1,404千円 〔 金武町野球場人工芝舗装業務実施設計業務 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,404	1,404	1,123	281	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,404	1,404	1,123	281	0										

資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入力で選定しており妥当であったと考えている。 ○不用額もなく適正であるとする。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－④	金武町陸上競技場3種公認事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア				
				国際的な沖縄観光ブランドの確立				
担当部課名	金武町教育委員会 社会教育課	事業実施 （予定）年度	平成29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1			
事業内容	認定更新に必要な競技場の整備及び必要備品を整備することで、大会や合宿等の受入が可能となり、沖縄県の陸上競技振興に寄与するとともに、本町の観光振興に資する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（30年度）							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	31,708					
		(b) 予算現額	26,512					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,196					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	26,512					
	B. 執行済額		26,512					
	うち交付金充当額		21,209					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		おおむね予定通り執行したが、減額分は入札残によるものである。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	競技規則に基づく競技場整備及び備品購入	目 標	（ 整備工事及び備品購入完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	整備工事及び備品購入完了					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
達成 状況 説明	競技規則に基づき競技場の整備（ルール改正に伴うマーキングの変更等）を実施。備品も規則で定める種類及び数量購入し、競技場の公認や大会・合宿受入に対応できる環境を整備した。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度 ）	29年度	30年度	31年度	目標値 （30年度）
	競技場整備及び備品設置の完了	目 標	（ ）	（ 完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		完了				
	3種公認更新検定 合格	目 標	（ ）	（ 検定合格 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		検定合格				
	【H30成果目標】 大規模な陸上競技大会受入	目 標						1件
	【H30成果目標】 陸上競技団体の合宿受入	目 標						1件
	進 捗 状 況 説 明	競技場整備及び備品設置完了後、日本陸上競技連盟による検定を受験し合格した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	競技規則に基づき競技場の整備及び備品設置を行ったことにより、第3種の陸上競技場として公認された。	今後、本施設を有効に活用するため、3種公認陸上競技場であることを周知する。
今後の取り組み方針		
今後は、競技場・備品共に環境が整った3種公認競技場として広く周知し、これまで受入れてきた大会だけでなく県が主催する大会や県外からの合宿受入に積極的に取り組み、町内競技者の競技力向上及び本町の観光振興を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>26,512</td><td>26,512</td><td>21,209</td><td>5,303</td><td>0</td></tr></table> 金武町 26,512 千円 工事請負費 6,048 千円 町田工業株式会社 6,048 千円 （ルール改正に伴うマーキングのペイント等公認検定に係る工事） 備品購入費 20,464 千円 株式会社 沖縄スポーツ 20,464 千円 （3種公認に必要な備品の購入（円盤・ハンマー投用囲い等）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	26,512	26,512	21,209	5,303	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
26,512	26,512	21,209	5,303	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○工事・備品購入共に競技規則に基づき実施しており、事業目的に即し必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	金武町ノベルティグッズ作成事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－(ア)				
				国際的な沖縄観光ブランドの確立				
担当部課名	企画課	事業実施 (予定)年度	平成29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1			
事業内容	本町のキャラクターや景観、特産品等を使用したノベルティグッズを作成し、本町の魅力を県内外に広く周知し観光客の誘客を図る。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（ 30年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	3,000					
		(b) 予算現額	3,200					
		(c) 増減額 (b-a)	200					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	3,200					
	B. 執行済額		3,132					
	うち交付金充当額		2,505					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		97.9%					
予算の状況の説明		不用額(68千円)については、入札残である。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
			29年度	30年度	31年度	32年度		
	ノベルティグッズの作成の実施	目 標	（ 10,000個 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	10,000個					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成 状 況 説 明	当初の予定通り、ノベルティグッズ10,000個を作成した。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	29年度	30年度	31年度	目標値 （30年度）	
	ノベルティグッズの作成の完了	目 標	（ ）	（ 10,000個 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		10,000個				
	【H30成果目標】 平成29年度金武町観光ポータルサイトのアクセス件数から10,000件の増加を図る。	目 標					10,000件増	
	進 捗 状 況 説 明	プロスポーツキャンプやイベント等で来場した観光客、ネイチャーみらい館が受入を行っている民泊等で訪れた修学旅行生及び各自治会が行っている県外との交流活動での県外参加者等にグッズ配布を行い、町の情報発信を図ることができた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	各種観光イベント等にて特産品を使用したノベルティグッズを配布した事により、前年度に比べて観光情報発信の回数が増加しているが、一過性の周知となっている。	今後も、観光客誘客に繋がる各種イベント等で継続してノベルティグッズを配布し、観光情報発信の回数の増加に繋げる。また、継続的に町へ興味を持てるような手法を検討する。
今後の取り組み方針		
今後は、今年度から本格始動している金武町観光協会と情報連携しながら、物産販売、観光、教育等様々なイベントでノベルティグッズを配布し、町の観光情報発信を強化する。また、継続的に町へ興味を持てるようウェブサイト等での情報発信を強化していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
金武町 3,132千円 委託料 3,132千円 丸政印刷株式会社 3,132千円 ノベルティグッズ作成委託														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>3,132</td><td>3,132</td><td>2,505</td><td>627</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,132	3,132	2,505	627	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,132	3,132	2,505	627	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は、事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町							
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3－①	金武町就職活動支援補助事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(10)－ア			
					雇用機会の創出・拡大と求職者支援			
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成27～31年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－2		
事業内容	雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求職者への相談員による就業相談や、中小企業等に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。 また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、雇用問題の解決や就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	35,586	39,670	31,135			
		(b) 予算現額	24,456	39,670	23,555			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 11,130	0	▲ 7,580			
		(d) 繰越額	—	—	—			
		A. 計 (b+d)	24,456	39,670	23,555			
	B. 執行済額		22,778	29,572	23,500			
	うち交付金充当額		18,222	23,657	18,799			
	次年度繰越額		0	0	0			
	執行率(%) (B/A)		93.1%	74.5%	99.8%			
予算の状況の説明		主な減額理由として人件費において、事務推進員1名が5ヶ月間欠員のため、5ヶ月分の余剰。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	職業相談	目 標	()	(実施)	(実施)	()		
		実 績		実施:287名	実施:402名			
	各種講座の開催 4講座	目 標	(1回)	(4講座)	(4講座)	()		
		実 績	7回	4講座	4講座			
	企業セミナー 6回	目 標	()	(6回)	(6回)	()		
		実 績		6回	6回			
	キャリア教育 4校	目 標	(1校)	(4校)	(4校)	()		
		実 績	2校	5校	5校			
達成 状況 説明	職業相談については、平成28年度より115名増え402名に対して実施した。 各種講座と企業セミナーについては、当初計画通り実施した。 キャリア教育については、町内全校に対してニーズを確認しながら、4校とも連携して実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (30年度)
	就業者目標数	目 標	()	(10名)	(10名)	(10名)	()	
		実 績			20名	39名	24名	
	【H30成果目標】 就業率10.7%以上		目 標					10.7%
	【H30成果目標】 キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目 標					80%
	進 捗 状 況 説 明	平成28年度から平成29年度現在当センターへの利用者数としては287名から402名に増えているが、就業者数としては39名から24名に減少している。主な理由としては、再来者が多く、再来者に対して就業者数の実績に反映できていない。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成27年度国勢調査において、完全失業率が7.7%となっており、平成22年度から4%回復している。一方で県の平均値としては6.3%であり、全県的に比較すると完全失業率は高い状況である。この状況を踏まえ、就職活動の支援を継続的に推進していく必要がある。	現在当センターへの利用者は増えているが、再来者が多いため、個々の状況に応じた求人情報の提供を行っていく。
今後の取り組み方針		
相談員による利用者との相談において、状況等を十分に聞き取り、利用者それぞれに適した求人情報の提供を実施し、雇用のミスマッチの改善に努める。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>23,500</td><td>23,500</td><td>18,799</td><td>4,701</td><td>0</td></tr></table> 金武町 23,500千円 → 補助金 23,500千円 → 金武町就活支援センター 23,500千円 〔 金武町就職活動支援補助事業 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	23,500	23,500	18,799	4,701	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
23,500	23,500	18,799	4,701	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の適正化に関する条例及び団体補助金交付規則に基づき適正に選定した。 ○年度当初から1名推進員の確保ができず、不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度運営者との間で協議し、適正であると判断している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3－②	金武町雇用対策事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（10）－ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施 （予定）年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者 支援 Ⅲ－2		
事業内容	ギンバル訓練場跡地利用の進出企業への雇用を促進するため、進出企業が町民を雇用した場合の研修費用等を支援する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	10,000	10,587	13,228	8,148	6,880	
		(b) 予算現額	10,000	10,587	13,852	3,788	5,297	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	624	▲ 4,360	▲ 1,583	
		(d) 繰越額	－	－	－	－	－	
		A. 計 (b+d)	10,000	10,587	13,852	3,788	5,297	
	B. 執行済額		5,244	5,370	12,158	2,206	5,297	
	うち交付金充当額		4,195	4,296	9,725	1,764	4,237	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)		52.4%	50.7%	87.8%	58.2%	100.0%	
予算の状況の説明		不用額の主な理由は、支援対象者1名が産前休暇を取得したことによるものである。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度	
	進出企業等が採用した研修者OJT実施を 支援に対する研修費等の支援 研修者数3人	目 標	(5人)	(5人)	(4人)	(3人)		
		実 績	5人	7人	2人	3人		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状況 説明	活動目標通り3人の研修者に対して支援をしたため、達成できたと考えている。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	27年度	28年度	29年度	目標値 （ 年度）
	平成29年研修者定着率 （研修後の継続雇用）	目 標	()	(7人)	(100%)	(100%)	()	
		実 績		7人	100%	100%		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説明	平成29年度において雇用した3名の町民については、企業側が独自に継続雇用ができるように雇用研修を行ったことにより、平成30年度についても継続して雇用されているため、成果目標を達成したと考えている。また、平成25年度から平成29年度までに本事業により20名雇用されている。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ギンバル訓練場跡地への進出企業を対象とした町民雇用の促進・拡大を図り、町民を雇用した企業に対し、研修費等の支援を行ったが、就職者の中には更なる雇用条件等を求めて離職し、町外の企業に再就職する者もいる。	ギンバル訓練跡地進出企業の現状把握、求人者の求める雇用条件等を照らし合わせながら、更なる雇用条件等の改善に向けて企業と連携していく。
今後の取り組み方針		
今後、ギンバル訓練場跡地に大型ホテル等の進出が見込まれていることから、引き続き雇用創出を図るとともに、これまでの就職者の継続雇用を維持をしていく。その為にも、金武町就活支援センターと連携し、就職に優位と成り得る資格取得プログラム等の実施に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
5,297	5,297	4,237	1,060	0

金武町
5,297千円

委託料
5,297千円

医療法人菱秀会
3,219千円

株式会社ファイブセブン
2,078千円

〔 金武町雇用対策事業(地域医療施設)業務委託 〕

〔 金武町雇用対策事業(調剤薬局)業務委託 〕

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ギンバル訓練場跡地への進出企業においての町民の新規雇用の創出を図ることが目的であるため、契約方法は地方自治法施行令第167条の2第1項第6号に基づき締結し、妥当と考える。 ○年度当初から人材確保が出来ず、不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度委託者との間で協議しており、適正であると判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4－①	小中学校学習等支援事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ウ				
				時代に対応する魅力ある学校づくりの推進				
担当部課名	金武町教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－3			
事業内容	日本人英語指導員、外国人英語指導助手、英語コーディネーターを配置し、学級担任や英語教諭とのチームティーチングによる英語指導の補助を行い、小学校段階から異文化や英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や興味関心を高め、学力の向上を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	29,161	29,755	36,785	18,760	21,840	
		(b) 予算現額	27,553	29,755	34,422	18,760	21,840	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,608	0	▲ 2,363	0	0	
		(d) 繰越額	－	－	－	－	－	
		A. 計 (b+d)	27,553	29,755	34,422	18,760	21,840	
	B. 執行済額		23,296	23,159	33,678	18,370	21,173	
	うち交付金充当額		18,636	18,527	26,942	14,696	16,938	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		84.5%	77.8%	97.8%	97.9%	96.9%	
予算の状況の説明		不用額については、外国人英語指導助手1名の退職による減額分と、欠勤による減額分が主なものである。配置については全て実施した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	○日本人英語指導員 小学校:2人	目 標	(小学校:2人)	(小学校:2人)	(小学校:2人)			
		実 績	小学校:2人	小学校:2人	小学校:2人			
	○外国人英語指導助手 小学校:2人 中学校:2人	目 標	小学校:2人 中学校:1人	(小学校:2人 中学校:1人)	(小学校:2人 中学校:2人)			
		実 績	小学校:2人 中学校:1人	小学校:2人 中学校:1人	小学校:2人 中学校:2人			
	○英語コーディネーター 教育委員会:1人	目 標	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)			
		実 績	教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人			
	達成 状 況 説 明	町内小中学校に日本人英語指導員2人、外国人英語指導助手4人、英語コーディネーターを1人、合計7人を配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図ることができた。						
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度
(小学校) 児童英検において、平均正答率が全国平均との差-5%以内。(グレード:ブロンズ)		目 標	()	(全国平均との 差5%以内)	(全国平均との 差-5%以内)		()	
		実 績		4.2%上回っている。	-10%			
(中学校) ・英語検定3級において、校内受験者数に対し合格率27%以上。		目 標	()	(20%)	(合格率 27%以上)		()	
		実 績		21.1%	28%			
進 捗 状 況 説 明		小学校1年生からの「外国語活動」を実施し、英語及び異文化への興味関心・理解を深めることが出来た。中学校卒業までには簡単な英会話のできる児童生徒を育成するため、小・中学校が連携した学習を推進していく。 今年度で小学校児童英検の実施が2回目となるが、6年生においてはブロンズの受験者数が1人となっており、シルバーを受験する児童が多かった。(シルバー平均正答率83.1%、全国平均との差+2.1%)						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	授業の展開の仕方や発音等、担任中心の指導にまだ不安を持っている先生方が多いことが課題である。	担任の先生方の意見を基に、英語コーディネーターを中心に、日本人英語指導員と担任の先生、または外国人英語指導助手と担任の先生との役割をしっかりと分担した具体的な取組を話し合い、担任の先生が安心して授業に臨めるようにする。
今後の取り組み方針		
教師の実態や授業に対する思いや考えなどを把握するために各小・中学校の教師へ外国語活動に関するアンケートを実施し、授業の改善に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
21,173	21,173	16,938	4,235	0

金武町
21,173千円

報酬
21,173千円

英語教育指導員報酬
21,173千円

（小中学校学習等支援事業(英語教育指導員 7名)

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4－②	幼稚園預かり保育事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(1)－ア				
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成			
					Ⅲ－3			
事業内容	午前の幼稚園保育終了後、両親共働き世帯が多いことから子育て環境を改善するために嘱託職員を配置し、預かり保育を実施する。午前の幼稚園教育の延長とせず、家庭的で自由な雰囲気の中で園児達を引き続き預かる。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,806	5,767	6,008	6,008	12,017	
		(b) 予算現額	5,806	5,767	3,925	3,925	12,017	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 2,083	▲ 2,083	0	
		(d) 繰越額	－	－	－	－	－	
		A. 計 (b+d)	5,806	5,767	3,925	3,925	12,017	
	B. 執行済額		3,545	3,721	3,925	3,925	10,659	
	うち交付金充当額		2,835	2,977	3,140	3,140	8,526	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)		61.1%	64.5%	100.0%	100.0%	88.7%	
予算の状況の説明		不用額については、報酬額の差額による減額分が主なものである。配置については全て実施した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度	
	○預かり保育実施幼稚園：3園	目 標	(1園)	(1園)	(1園)	(3園)		
		実 績	1園	1園	1園	3園		
	○預かり保育嘱託職員配置数：6人	目 標	(3人)	(2人)	(3人)	(6人)		
		実 績	2人	2人	2人	6人		
達成状況説明	預かり保育については、1クラス25名定員としており、当初計画どおり3園にて預かり保育を実施し、預かり保育嘱託職員または預かり保育賃金職員を中川幼稚園に1名（賃金職員2名）、金武幼稚園に3名（嘱託職員3名）、嘉芸幼稚園に2名（嘱託職員1名、賃金職員2名）配置した。 ※賃金職員については2名で嘱託職員1名換算。計画どおり6人分の職員を配置できた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値（ 年度）	27年度	28年度	29年度	目標値（ 年度）
	○預かり保育内容に係る幼児教育の成果について保護者へのアンケートを実施 目標：「子育て環境における満足度90%」以上	目 標	()	(90%以上)	(90%)	(90%以上)	()	
		実 績		99%	86%	98%		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	これまで金武幼稚園のみで実施していた預かり保育を、今年度初めて3園での実施となったが、金武幼稚園を中心に情報交換等行いながら滞りなく実施することができ、3園とも希望する園児を100%受入することができた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	夏季休業期間中は朝から夕方までの1日中園児を受入するので、預かり保育嘱託職員だけでの実施は厳しい。	各園における主任の先生方を中心に、担任の先生方とも連携を図りながら夏季休業期間中も受入ができるよう勤務体制を工夫しながら運用していく。
今後の取り組み方針		
長期休業期間中も安心して園児を受入できるよう、各園内における先生方及び代替教諭等も活用しながら勤務体制を整える。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>10,659</td><td>10,659</td><td>8,526</td><td>2,133</td><td>0</td></tr></table> 金武町 10,659千円 報酬 7,356千円 預かり保育嘱託職員報酬 7,356千円 幼稚園預かり保育事業（支援員4名） 賃金 3,303千円 臨時職員賃金 3,303千円 幼稚園預かり保育事業（支援員4名）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,659	10,659	8,526	2,133	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,659	10,659	8,526	2,133	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき、預かり保育嘱託員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模においては、預かり保育を希望する園児数から鑑みて、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		金武町							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		4－③ 特別支援教育支援事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章－5－(3)－ウ			
担当部課名		金武町教育委員会		事業実施 (予定)年度		平成24～33年度			
				沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ－3			
事業内容		発達障害等を持つ幼児・児童・生徒の教育については、ノーマライゼーションの理念に基づき、学習生活・学校生活等における困難を改善又は克服するために、適切な指導及び支援を行う。							
効果発現年度		■ 当年度 □ 後年度(年度)							
実施方法		■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)				25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
		予算 の 状 況	(a) 当初予算額	27,331	30,042	32,044	58,081	58,081	
			(b) 予算現額	27,331	30,042	29,386	58,081	58,070	
			(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 2,658	0	▲ 11	
			(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
			A. 計 (b+d)	27,331	30,042	29,386	58,081	58,070	
		B. 執行済額		24,218	29,822	28,927	54,690	45,692	
		うち交付金充当額		19,374	23,857	23,141	43,752	36,553	
		次年度繰越額		0	0	0	0	0	
		執行率（％）(B/A)		88.6%	99.3%	98.4%	94.2%	78.7%	
予算の状況の説明		当初支援員の配置人数を昨年度と同数の29名で計画していたが、配置について調整を行い26名配置が適当であると判断されたため、3名減となった。不用額については、報酬額の差額による減額分と退職職員2名分の不用額が主なものである。							
活動目標 (指標) 及び達成状況		H29活動目標(指標)		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度		
		特別支援教育支援員配置数 ○幼稚園:5人 ○小学校:14人 ○中学校:6人	目 標	(幼稚園2人 小学校10人 中学校3人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校3人)	(幼稚園5人 小学校17人 中学校7人)	(幼稚園5人 小学校14人 中学校6人)		
			実 績	幼稚園2人 小学校11人 中学校3人	幼稚園1人 小学校11人 中学校3人	幼稚園5人 小学校17人 中学校7人	幼稚園6人 小学校14人 中学校6人		
			目 標	()	()	()	()		
			実 績						
達成 状況 説明	町内幼稚園2園6名、小学校3校14名、中学校1校6名、計26名の特別支援教育支援員を配置し、必要な支援を行った。								
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (30年度)
		・学校評価における、特別支援教育に関する項目「支援を要する幼児児童生徒に対し、適切な支援が行われていると感じる」の評価3以上(4段階評価)	目 標	(—)	(3以上)	(3以上)	(3以上)	()	
			実 績		3.6	3.6	3.5		
		【H30成果目標】 対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員を配置したことにより学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目 標					80%
		進 捗 状 況 説 明	町内各幼稚園、小・中学校において必要に応じ特別支援教育支援員を配置することができたが、小学校現場において、県費負担教員の産休等に伴う臨任が確保出来ず、特別支援教育支援員が一時県費負担教諭に異動せざるを得ない状況が発生し欠員の期間があったため、現場に負担があった。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	支援を要する幼児児童生徒の実態が多様化する中、学校及び担任の先生と特別支援教育支援員が連携して個々に応じた支援に努めているが、その支援が適切であるか不安を感じている現状がある。	学級担任や養護教諭、また専門的知識を持った特別支援教育推進員と特別支援教育支援員との連携を深め、特別支援教育支援員が不安を抱えず支援に努められるようにする。
特別支援教育に係る研修等を実施し、支援員の更なる資質向上を図っていくとともに、研修の場を通して特別支援教育支援員同士が互いに情報交換したり、また専門的知識を持った特別支援教育推進員等に不安や悩み等を相談する時間を設けるなどして不安解消に努める。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>45,692</td><td>45,692</td><td>36,553</td><td>9,139</td><td>0</td></tr></table> 金武町 45,692千円 報酬 45,692千円 特別支援教育 支援員報酬 45,692千円 特別支援教育支援事業（支援員26名）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	45,692	45,692	36,553	9,139	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
45,692	45,692	36,553	9,139	0										
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模においては、支援を必要とする幼児・児童・生徒数から鑑みて、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5－①	金武町海外移住者子弟等受入事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－4－(1)－ア			
					国際ネットワークの形成と多様な交流の推進			
担当部課名	企画課	事業実施 (予定)年度	平成29～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－7		
事業内容	本町と海外移住国との友好親善及び人材育成に資することを目的に、海外移住者子弟等研修生の受け入れを実施する。研修期間は8月から12月までの約4ヵ月間で、語学研修をはじめ研修生が希望または専門とする研修のほか、琉球舞踊や三線など、沖縄の伝統芸能について理解を深め習得を目指す沖縄文化教養研修を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,562					
		(b) 予算現額	5,562					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	5,562					
	B. 執行済額		4,838					
	うち交付金充当額		3,870					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		87.0%					
予算の状況の説明		研修内容の見直しにより当初予定していた研修に係る委託事業を取りやめ、町内で実施している既存の講座等を活用したことにより、研修に係る経費が節減できたことによる減である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	受入人数：6人	目 標	(6人)	()	()	()		
		実 績	3人					
	研修期間(4ヶ月間)	目 標	(4ヶ月)	()	()	()		
		実 績	4ヶ月					
	研修報告(閉講式)1回	目 標	(1回)	()	()	()		
		実 績	1回					
	達成状況説明	受入人数について当初の予定は6人であったが、事業内容の向上を図り、研修生一人ひとりの要望に柔軟に対応できるよう3人に減を行った。 研修期間について、金武町では12月5日を「金武町移民の日」と制定しており、移民の日に行われる事業に研修生を参加させることを目的に、研修期間を8月から12月までの期間としている。平成29年度は8月23日から12月19日までの約4ヶ月間研修を行った。 閉講式のプログラム内容について例年行われている日本語のスピーチに加え、日本語による各国紹介発表を行った。						
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	29年度	30年度	31年度
○研修報告会の実施(閉講式)		目 標	()	(1回)	()	()	()	
		実 績		1回				
○研修生に対しアンケートを実施(研修後) ・日本語や伝統芸能・文化教養について興味を持った：75%		目 標	()	(75%)	()	()	()	
		実 績		100%				
○研修生に対しアンケートを実施(研修後) ・自分のアイデンティティやルーツを知ることができた：70%		目 標	()	(70%)	()	()	()	
		実 績		100%				
○研修生に対しアンケートを実施(研修後) ・当該事業を今後も継続してほしい：70%		目 標	()	(70%)	()	()	()	
		実 績		100%				
○研修生に対しアンケートを実施(研修後) ・帰国後は町人会等で研修について報告する：70%		目 標	()	(70%)	()	()	()	
	実 績		100%					
【H30成果目標】 受入れた研修生へのアンケートで、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目 標					80%	
進捗状況説明	閉講式については12月に行い、例年発表している日本語のスピーチに加え、試験的に日本語による各国発表やスキット(寸劇)を追加した。例年に比べ内容が充実した研修報告会となり、閉講式参加者の親戚や、研修生講師の方々からは好評を得ることができた。 研修生に対してアンケートの実施については今年度初めての取り組みであり、研修生が簡単に答えることができるような内容で作成し実施した。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（研修報告会の実施）（閉講式） 閉講式について新たに取り入れた発表では好評価を得ることはできたが、これまでの発表に追加したかたちであるため、準備までや当日の進行に時間の余裕が少なかった。 （研修生に対してアンケートを実施） 当初のアンケート目標より上回った要因については、簡単に答えることができる設問内容であったことと、自分のルーツを知る研修を外部で行うことができたためと考える。	（研修報告会の実施）（閉講式） 研修生が4ヵ月間行ってきた研修の成果をより発揮できる場として、研修発表内容の充実を図る。 （研修生に対してアンケートを実施） アンケート内容の見直しを図り、事業の向上に繋げる。
今後の取り組み方針		
（研修報告会の実施）（閉講式） 閉講式における研修発表の内容については、今年度と同様に日本語スピーチだけではなく、日本語発表を取り組む考えである。また、研修期間中に行われた研修内容を報告する様式を新たに追加し、研修後の報告書が多様な内容となるよう取り組んでいく。 （研修生に対してのアンケート実施） 事業の向上に繋げるため、研修生の思いや考えなどを取り入れたアンケート内容の作成に取り組む。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）				
金武町 5,432千円 事務費 517千円 委託料 853千円 使用料及び賃借料 476千円 負担金、補助及び交付金 2,992千円 講師（1名） 25千円 O・Aプラザ仲間 4千円 花 Vancum 5千円 有限会社 巴印刷 151千円 金武文化堂 8千円 日本郵便株式会社 30千円 NPO法人金武町国際 交流支援センター 損害保険ジャパン 日本興亜株式会社 講師（10名） 853千円 学校法人 智晴学園 476千円 国際旅行社 金武 1,463千円 研修生（3名） 1,529千円 （ 合同研修の際の謝礼金 ） （ 研修に係るファイル ） （ 閉講式の際の盛花 ） （ 報告書の印刷製本 ） （ 研修に係る文書発送用切手 ） （ 報告書の郵送 ） （ 報告書に係る文書の翻訳 ） （ 研修期間中の研修生の保険料 ） （ 研修生の研修委託 ） （ 研修生の宿泊施設賃借 ） （ 研修生の往復旅費 ） （ 研修生の生活に係る費用 ）				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
5,432	4,838	3,870	968	594
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○各国からの推薦に基づき研修生を決定しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模については、4ヶ月館の研修を実施するために適正な規模であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		○研修生が研修以外に係る経費については研修生の負担であることから、妥当であると考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○使途については、事業目的に即した必要な費用であったと判断し交付している。

市町村名		金武町														
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】																
事業番号・事業名		5－② 金武町移民の日記念事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－4－（1）－ア									
担当部課名		企画課		事業実施（予定）年度		平成29～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所		国際ネットワークの形成と多様な交流の推進						
事業内容		12月5日の「金武町移民の日」に、第1回移民を送り出した本町出身の當山久三の偉業をたたえ、顕彰するとともに、その功績を広く周知し、次世代の人材育成を目的とした公演、移民関係の展示を実施。 また、移民の日関連事業として、県内で研修している海外移住者子弟を対象とした沖縄県市町村海外移住者子弟研修生合同合宿を実施した。沖縄県の移民、金武町の移民に関する歴史を学び、合宿を通し移住者子弟の交流を図る。														
効果発現年度		■当年度 □後年度（ 年度）														
実施方法		■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）														
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				29年度		30年度		31年度		32年度		33年度				
		予算の状況	(a) 当初予算額		1,472											
			(b) 予算現額		2,755											
			(c) 増減額 (b-a)		1,283											
			(d) 繰越額		－											
			A. 計 (b+d)		2,755											
		B. 執行済額		2,338												
		うち交付金充当額		1,870												
		次年度繰越額		0												
		執行率（％）(B/A)		84.9%												
予算の状況の説明		当初予定していた公演プログラムに、オリジナル舞台や音楽などを新たに実施するため、補正及び計画変更を行い予算の増額を行った。予算額の残については、記念事業のプログラムの変更に伴う、講師謝礼金及び需要費の執行残、委託料の入札残等に伴うものである。														
活動目標（指標）及び達成状況		H29活動目標（指標）			達成状況											
					29年度		30年度		31年度		32年度					
		移民関連の学習会・公演等の実施			目 標		(1回)		()		()					
					実 績		1回									
					目 標		()		()		()					
					実 績											
達成状況説明		沖縄県内の自治体で研修している海外移住者子弟と、沖縄移民について学び、本町の偉人である當山久三が沖縄から初めて移民を送り出したことについて、町内でのフィールドワーク等を通して学習会を実施した。 移民の日記念事業では、顕彰式、移民関連資料の展示、南米料理の試食、海外移住者子弟等研修生の成果報告、演劇等を通して移民について広く周知を行う事ができた。														
成果目標（指標）及び進捗状況		H29成果目標（指標）					基準値（ 年度）		29年度		30年度		31年度		目標値（30年度）	
		○参加者に対してアンケートを実施・移民の歴史について知ることができた。			目 標		()		(75%)		()		()		()	
					実 績				100%							
		○参加者に対してアンケートを実施・移住国に住むシマヌチュと交流したい。			目 標		()		(80%)		()		()		()	
					実 績				60%							
		○参加者に対してアンケートを実施・移民の日記念事業に参加したい			目 標		()		(50%)		()		()		()	
					実 績				53%							
		○参加者に対してアンケートを実施・移民について興味を持った			目 標		()		(75%)		()		()		()	
					実 績				90%							
		【H30成果目標】 参加者に対してのアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。			目 標										80%	
進捗状況説明		移民の歴史について知らない世代に移民の日関連事業を通して沖縄の移民について周知をする事ができた。 移民事業で海外へ移住した本町出身のシマヌチュの活躍について、記念事業を通して周知する事で、移住国やシマヌチュ、本町の国際交流の事業について多くの人が関心を持つきっかけとなった。移民の歴史について、わかりやすく演劇で伝える事で、沖縄から初めての移民を送り出した金武町出身の當山久三の功績を町内外の人に周知できた。														

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	【移民の周知・関心・交流】 沖縄の移民の歴史について知らずに沖縄での研修に参加している研修生も多い事や、移民の歴史を継承していく事の難しさ、大切さについて共有する事ができた。 引き続き多くの人に移民や當山久三の取り組みについて周知を図り、継続して事業へ参加を促す事ができる事業内容や参加型事業等について検討する。	移民に関心のある人が参加する事業ではなく、これまで移民について関心のなかった人が、沖縄の移民を知るきっかけとなる事業、また次回も参加したいと思うプログラムの策定や、事業の周知方法について検討する。 また、本町でこれまで実施している、移民に関連した国際交流関係の事業との関連性を持たせ、人材の育成及び多くの人に対して事業への参加を図る。
今後の取り組み方針		
沖縄移民の父「當山久三」の功績を後世に継承していくための取り組みとして、公演会や記念事業の実施だけではなく、今後は町内にある當山記念館、生誕の碑、移民へ出発した場所、フィリピン移民等、海外雄飛の里である金武町の土地柄を活かした事業の計画に取り組んでいく。また、町内の有識者の意見を取り入れ、多くの人に移民について周知を図り、事業への参加を推進できるよう取り組む。 また、双方の人材の育成と本町と移住国の繋がりや交流を今後も継続できるように、町の国際交流事業と関連づけた、参加型の移民の日関連事業の実施について検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>2,446</td><td>2,338</td><td>1,870</td><td>468</td><td>108</td></tr></table> 金武町 2,338千円 事務費 189千円 委託料 2,149千円 報償費 50千円 需要費 127千円 役務費 12千円 丸正印刷株式会社 2,149千円 講師謝礼金として (5名) 横断幕・事務消耗品 郵送用切手代等 第3回金武町移民の日関連事業業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,446	2,338	1,870	468	108
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,446	2,338	1,870	468	108										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業の実施内容の変更等により、予算を増額して事業を実施した。執行状況は85%となっているが、補正により事業内容が充実し集客を図る事ができたことから実施事業に対する予算規模としては適正であったと考えている。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目や使途については、精算段階で検査をしており、目的に即し、必要なものであった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-①	「金武町の偉人及び民話」絵本化事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－(ア)				
				沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり				
担当部課名	金武町教育委員会 社会教育課	事業実施 （予定）年度	平成29～31年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－3－(2)			
事業内容	フィリピン移民の父と呼ばれた「大城孝蔵氏」の生涯を絵本化し、町内幼小中学校、各地区公民館、海外町人会へ配布・活用することにより、金武町の歴史や文化、精神を後世へ継承する。また、作製する絵本の内容においては、金武の方言を用い、「島くとうば」への継承を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	1,012					
		(b) 予算現額	1,015					
		(c) 増減額 (b-a)	3					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	1,015					
	B. 執行済額		1,015					
	うち交付金充当額		811					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100%					
	予算の状況の説明		絵本郵送料として3千円増額となった。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	・町内各幼稚園、小学校、中学校へ61部配布 ・各地区公民館へ5部配布 ・県内公共図書館等へ20部配布 ・海外町人会へ14部配布	目 標	(100%)	()	()	()		
		実 績	100%					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
	達成 状 況 説 明	町内小中学校においては、教職員歓迎会で絵本の内容を説明し、絵本の贈呈式を行った。各区の区長へも贈呈し、県内の公共図書館へは、相互貸借サービスを利用し配布した。また、海外の町人会へも送付し、合計174部寄贈した。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度 ）	29年度	30年度	31年度	目標値 （30年度）
	・配布した各施設において絵本の供用を行う	目 標	()	(実施)	()	()	()	
		実 績		実施				
	【参考指標】 町内の各小学校で理解度アンケートを実施	目 標	()	(70%)	()	()	()	
		実 績		85.8%				
	【H30成果目標】 町内小学校の4年生から6年生へのアンケートで、絵本の内容について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目 標					80%	
	進 捗 状 況 説 明	絵本「フィリピン移民の父 大城孝蔵」を200部発刊し、県内外へ寄贈した。また、町内各小学校へ寄贈し、小学校で読み聞かせを行った。小学校4年生～6年生を対象にアンケートを実施し、目標を上回ることができたことから、絵本の目的を達成したと考える。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	しまくとうば継承のため、金武方言を全編に取り入れたが、ページによってフォントが変わり、また、文字が小さく読者から読みにくいとの指摘を受けた。	平成30年度以降に予定している絵本（松岡政保）については、松岡政保の思いや会話の部分を島くとうばにし、文字のフォントを大きく一定に保つよう改善していく。
今後の取り組み方針		
次作の絵本「松岡政保」では、島くとうばを部分的に取り入れることで、読み易さに重きを置き作製したい。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,015</td><td>1,015</td><td>811</td><td>204</td><td>0</td></tr></table> 金武町 1,015千円 委託料 1,000千円 いちゃりば工房 1,000千円 （絵の制作や絵本の製作委託業） 役務費 15千円 海外町人会等への絵本郵送料 外国　ボリビア、アルゼンチン、ペルー、ブラジル、アメリカ、ハワイ、カナダ 国内　国立国会図書館他13					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,015	1,015	811	204	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,015	1,015	811	204	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は絵本の製作において町立図書館での実績があり、子どもたちが親しみを感じることのできる絵本の作成技術があることから妥当である。 ○必要最小限の経費で適正に事業が実施されており、適正な規模である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町							
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	8－①	認定こども園等業務効率化推進事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－2－（2）－イ				
				地域における子育て支援の充実				
担当部課名	保健福祉課	事業実施 （予定）年度	平成29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－4			
事業内容	認定こども園等に、業務の効率化を図るシステムと、事故の発生防止のためのビデオカメラを導入し、適切な午睡時間の確保と、事故防止体制を構築する環境を整備する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（ 30年度）							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	20,500					
		(b) 予算現額	20,500					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	20,500					
	B. 執行済額		19,825					
	うち交付金充当額		15,860					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		96.7%					
予算の状況の説明		不用額675千円は、工事請負費及び備品購入費等の入札残によるものである。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	公立こども園等3施設への業務効率化システム及びビデオカメラの導入	目 標	（ 3施設 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	3施設					
	私立こども園等7施設への業務効率化システム及びビデオカメラの導入支援の実施	目 標	（ 7施設 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	7施設					
	達成 状況 説明	目標のとおり公立こども園等3施設へ業務効率化システム及びビデオカメラを設置する事ができた。 目標のとおり私立こども園等へ業務効率化システム及びビデオカメラの導入を支援し、物品等を設置する事ができた。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （29年度）	29年度	30年度	31年度	目標値 （30年度）
	公立こども園等3施設への業務効率化システム及びビデオカメラの導入完了	目 標	（ 3施設 ）	（ 3施設 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		3施設				
	私立こども園等7施設への業務効率化システム及びビデオカメラの導入支援の完了	目 標	（ 7施設 ）	（ 7施設 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		7施設				
	【H30成果目標】 業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定 ・1歳児 2時間30分	目 標						2時間30分
	【H30成果目標】 業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定 ・2歳児 2時間	目 標						2時間
	【H30成果目標】 業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定 ・3歳児 1時間30分	目 標						1時間30分
	【H30成果目標】 業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定 ・4歳児 1時間	目 標						1時間
	【H30成果目標】 ビデオカメラ導入による目標を以下のとおりとする。 ・事故発生件数0件	目 標						0件
進 捗 状 況 説 明	公立こども園等3施設へ業務効率化システム及びビデオカメラを設置する事により、適切な午睡時間の確保及び、事故防止体制を構築する環境を整備する事ができた。 私立こども園等へ業務効率化システム及びビデオカメラの導入を支援する事により、適切な午睡時間の確保及び、事故防止体制を構築する環境を整備する事ができた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（業務の効率化） ・業務支援システムの導入 操作を習得するまでの期間は、不慣れな操作に戸惑いや不安を感じたり、これまでの事務処理以上に時間を要する等、一定期間の負担増が見込まれる。 （録画の適正使用） ・ビデオカメラの導入 事故検証用として使用する事になるが、保育従事者を監視する等、目的外使用の発生が懸念される。	（業務の効率化） システムサポートを積極的に活用する他、園内で操作方法等について情報を共有し、操作未習得者を支援する体制を構築する等、早期操作習得に取り組む。 （録画の適正使用） 録画内容の確認権限や確認できる状況等について規定を設ける事で、適正使用の徹底を図る。
今後の取り組み方針		
（業務の効率化） 年齢毎の午睡時間が確保できるよう、システムの早期操作習得に取り組む。 （録画の適正使用） 録画の適正使用について規定を設け使用する事で、事故防止体制を構築し、再発防止に取り組む。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>22,624</td><td>19,825</td><td>15,860</td><td>3,965</td><td>2,799</td></tr></table> 金武町 19,825千円 工事請負費 株式会社南日本警備保障 4,584千円 ビデオカメラ等設置工事費 備品購入費 株式会社 スパインラボ 業務支援システム等購入費 負担金、補助及び交付金 11,553千円 認定こども園きんのほし 2,000千円 株式会社 イトーキ 1,000千円 【ビデオカメラ等設置工事費】 株式会社 スパインラボ 1,000千円 【業務支援システム等購入費】 浜田保育園 1,631千円 有限会社総合ビルサービス 655千円 【ビデオカメラ等設置工事費】 株式会社 スパインラボ 976千円 【業務支援システム等購入費】 並里保育園 1,713千円 有限会社総合ビルサービス 734千円 【ビデオカメラ等設置工事費】 株式会社 スパインラボ 979千円 【業務支援システム等購入費】 杉の子幼児学園 1,835千円 株式会社ユナイテッドシステム 916千円 【ビデオカメラ等設置工事費】 株式会社ユナイテッドシステム 919千円 【業務支援システム等購入費】 杉の子小規模保育園 1,500千円 株式会社 南日本警備保障 718千円 【ビデオカメラ等設置工事費】 株式会社ユナイテッドシステム 782千円 【業務支援システム等購入費】 金武こどもみらい園 1,387千円 株式会社 南日本警備保障 578千円 【ビデオカメラ等設置工事費】 株式会社 スパインラボ 809千円 【業務支援システム等購入費】 ららくる屋嘉小規模保育園 1,487千円 株式会社 南日本警備保障 643千円 【ビデオカメラ等設置工事費】 株式会社 スパインラボ 844千円 【業務支援システム等購入費】					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	22,624	19,825	15,860	3,965	2,799
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
22,624	19,825	15,860	3,965	2,799										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事・物品購入請負者は、一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であったと考えている。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は上限額を設定した上で、1.5割以上を負担しており、町の事業負担割合から判断して妥当であったと考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと考えている。											

市町村名	金武町							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	9-①	安全・安心に暮らせる地域づくり事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-ウ				
				生活圏の充実				
担当部課名	建設課	事業実施 （予定）年度	平成29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10			
事業内容	町内の犯罪件数を0件とすることを目標に、公園及び隣接住宅地域の防犯対策のため、公園内の防犯灯の機能強化を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（30年度）							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	16,100					
		(b) 予算現額	0					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	16,100					
	B. 執行済額		12,744					
	うち交付金充当額		10,195					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		79.2%					
予算の状況の説明		不用額の3,356千円は、入札残によるものである。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	金武町立公園内防犯灯機能強化工事の実施	目 標	（ 工事の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	工事の実施					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	達成状況説明	期間内に工事を終了することができた。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	29年度	30年度	31年度	目標値 （30年度）
	金武町立公園内防犯灯機能強化工事の完了	目 標	（ ）	（工事の完了）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		工事の完了				
	【H30成果目標】 犯罪件数を28件以下にする。		目 標					28件以下
	進捗状況説明	防犯灯強化を実施したことで、公園内や隣接住宅が明るくなり、治安維持の回復に繋がっている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	公園内を明るくしたことで、今まで行われていた不良行為などが少なくなっている。	防犯灯の強化に加えて、防犯パトロールなどの取り組みも引き続き強化して取り組む。
今後の取り組み方針		
今後も取り組みを続けていき、不良行為だけではなく、犯罪行為なども減らしていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
12,744	12,744	10,195	2,549	0

金武町
12,744千円

工事請負費
12,744千円

有限会社 國場電工
6,480千円

有限会社 山川電工
6,264千円

金武町内公園街灯LED改修工事(1工区)

金武町内公園街灯LED改修工事(2工区)

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者については、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不要額は事業費の5%以内であり適切な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	